

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



山井助成

第1回 沖縄プラットフォーム連絡会 開催報告書

主催： 一般財団法人 日本女性財団
令和5年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

日時 2023年 11月22日(水) 10:00~11:30 (9:30受付開始)

場所 沖縄県立博物館・美術館 講堂

主催 一般財団法人 日本女性財団
令和5年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

テーマ 沖縄県のフェムシップ ～女性支援の輪を広げよう～

参加対象 女性支援団体に関わる方・ 医療福祉行政経済など関係者・
他、男女問わず関心のある方

後援  沖縄県

協力 Naoko女性クリニック(沖縄事務局)・ 那覇市女性の翼・ 沖縄首里ロータリークラブ

予算

予算収支	
WAM助成予算	400,000
会場スタッフ13名謝金(5,000/人)	65,000
講師謝金	15,700
講師交通費(54.8km*20円/km、高速代840円)	1,936
司会者謝金	15,700
司会者交通費(8.6km*20円/km)	172
事務用品	16,849
会場レンタル料(沖縄県立博物館・美術館)	24,130
フライヤー作成費(200枚)	33,000
会場配布用 検診ギフト案内(200枚)	16,500
舞台 懸垂幕作成費	19,250
懸垂幕取り付け作業費	9,900
当日 講師スタッフ飲み物	2,021
趣意書等 郵送料	1,520
広告費(沖縄タイムス)	55,000
会場キャンセル料(ているる)	3,375
事務局費	100,000
支出合計	380,053
残金	19,947

参加者内訳

参加人数	申込方法		来場数	
105	google Forms	111	90	105
	直接来場		15	
参加者内訳(人)				
医療・福祉	40			
企業	25			
支援団体	13			
行政関係者	8			
メディア	5			
教育関係者	2			
経済団体	2			
弁護士	2			
その他	3			
登壇				
	対馬ルリ子氏			
	高宮城直子氏			
	落合香代子氏			
	山内優子氏			
司会				
	島袋彩子氏			



2023 日本女性財団 沖縄プラットフォーム連絡会



沖縄県のフェムシップ ～女性支援の輪を広げよう～

「フェムシップ」とは女性たちを救済して乗せる母船の意味です

全ての女性が健康で生きやすく
活躍できる社会をめざそう♡

入場無料

日時：2023年11月22日(水) 10:00～11:30 (9:30開場)

会場：沖縄県立博物館・美術館 2階講堂 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

開会のあいさつ 高宮城直子

講演① 対馬ルリ子「日本女性財団の理念と活動 目指している姿」

講演② 落合香代子

「東京の民間女性支援の現場から ～東京プラットフォーム連絡会の活動より～」
フェムシップドクターズと支援団体代表らによるトークセッション

対馬ルリ子・高宮城直子・落合香代子・山内優子

「女性支援の輪を広げよう ～若年妊娠・出産の多い沖縄において～」

互いに顔のみえる関係をつくりましょう！



一般財団法人 日本女性財団代表理事
女性ライフクリニック銀座・新宿理事長
フェムシップドクター

対馬 ルリ子氏



一般財団法人 日本女性財団理事
Naoko女性クリニック院長
フェムシップドクター

高宮城 直子氏



一般社団法人 ママリングス代表理事
日本女性財団 WAM事業伴走者

落合 香代子氏



一般社団法人 おきなわ子ども
未来ネットワーク代表理事

山内 優子氏

対象 女性支援団体に関わる方・医療・福祉・行政・経済など関係者 他、男女問わず関心のある方
※ 事前申し込みの上 先着200名様



←QRコードを読みとりお申し込みください

お問合せ事務局 仲原宛：naokoclinic@hi2.enjoy.ne.jp

後援：沖縄県

協力：Naoko女性クリニック・那覇市女性の翼・沖縄首里ロータリークラブ

プログラム

司会 フリーアナウンサー 島袋彩子

①開会のあいさつ

日本女性財団理事 (高宮城直子)

②講演1

日本女性財団の理念と活動 目指している姿 (対馬ルリ子)

③講演2

東京の民間女性支援の現場から
～東京プラットフォーム連絡会の活動より～ (落合香代子)

④フェムシップドクターズと支援団体代表らによる トークセッション ・ 質疑応答

女性支援の輪を広げよう ～若年妊娠・出産の多い沖縄において～

(対馬ルリ子・高宮城直子・落合香代子・山内優子)

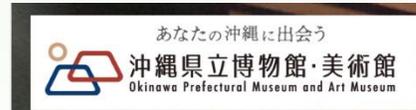
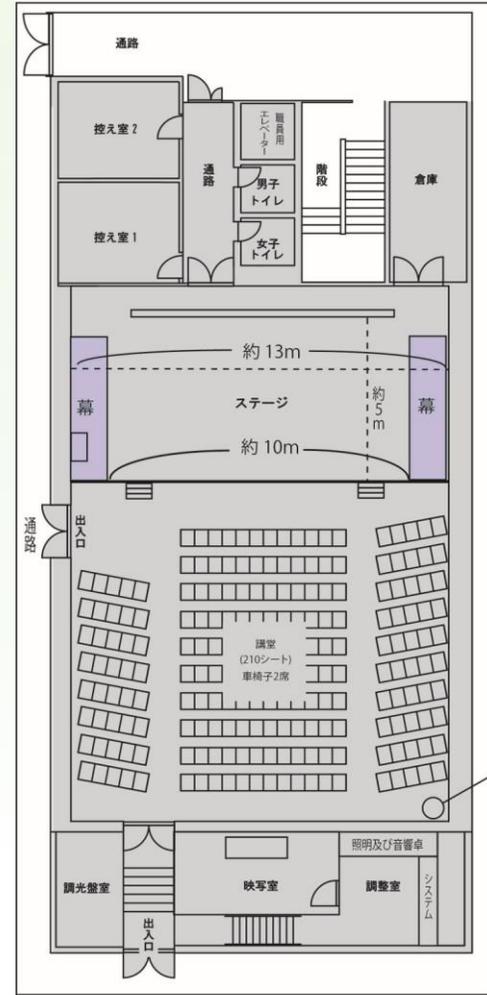


会場： 沖縄県立博物館・美術館



沖縄県立博物館・美術館 講堂 平面図

講演会やシンポジウム、映画上映会などを行うことができます。



女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



山梨県助成



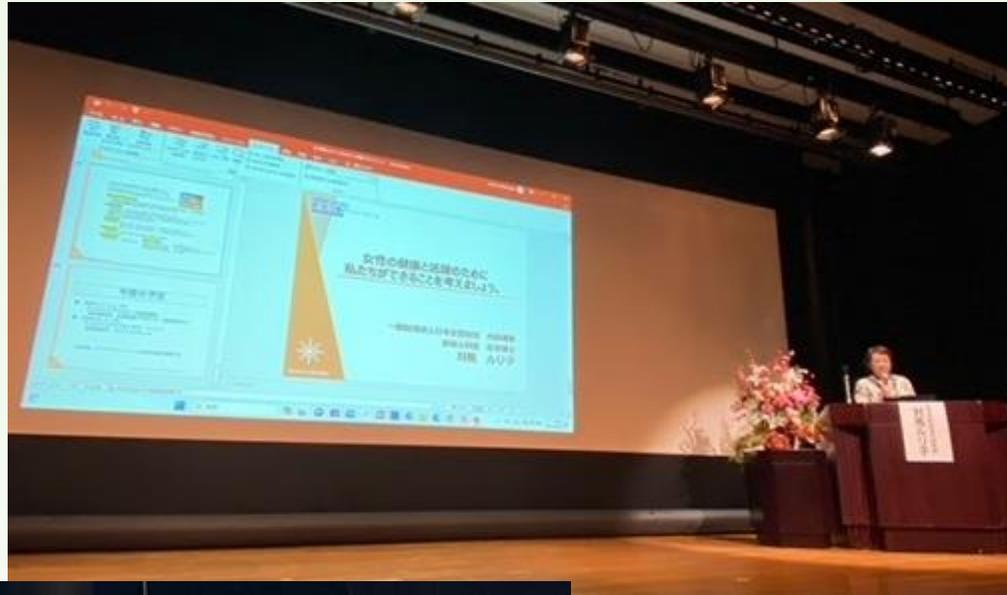
開会あいさつ 高宮城直子

沖縄県内にて、
支援者同士、顔の見える関係をつくり
女性支援の輪を広げたい。

講演内容① 対馬ルリ子

日本女性財団の理念と活動
目指している姿

医療者の立場から、
女性を助ける船という意味で
フェムシップドクターの活動を通じて女性が
生きやすい社会を目指したい。

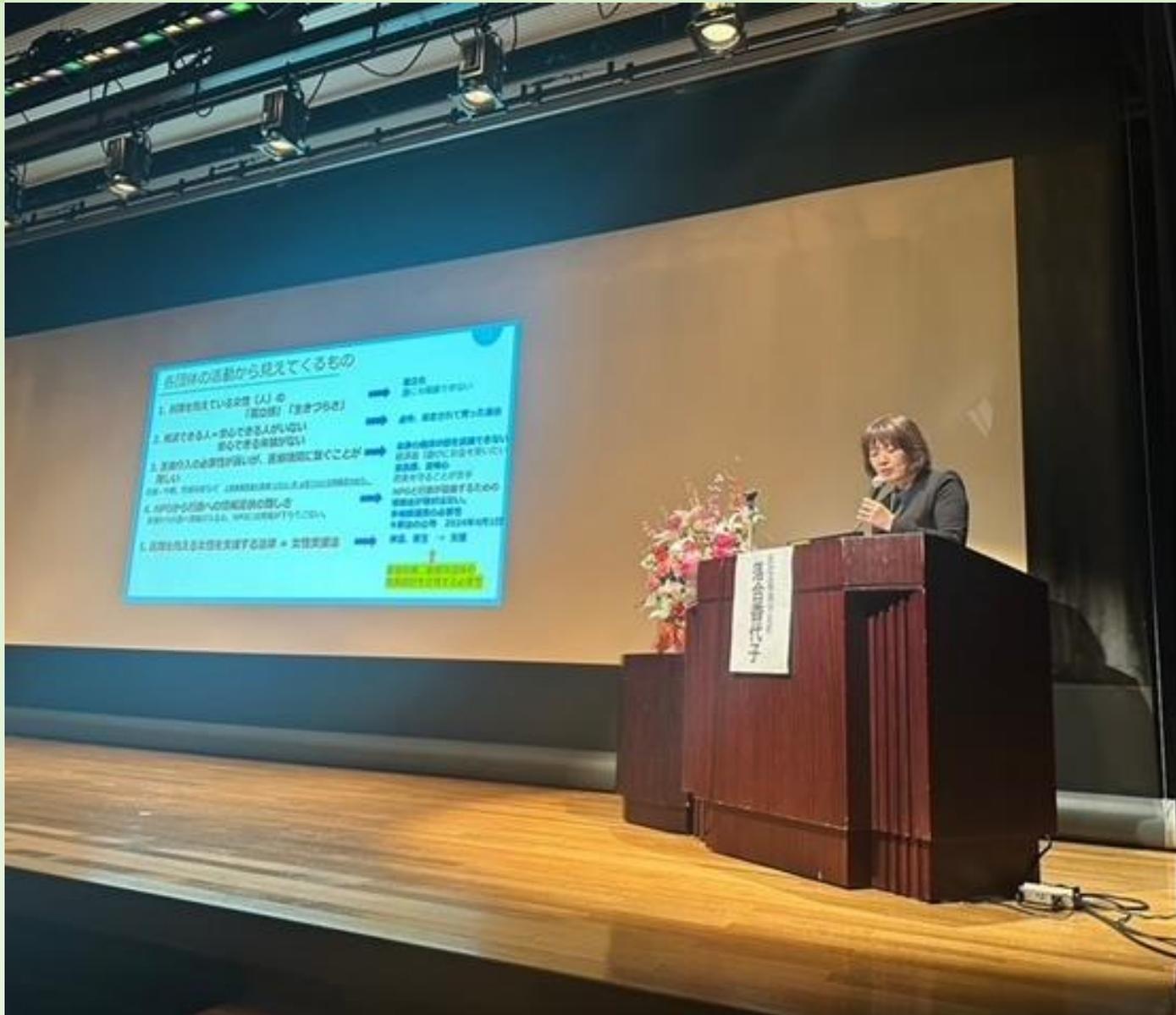


講演内容②

落合香代子

東京の民間女性支援の現場から

支援団体しか持っていない情報もあり、
医療でしか解決できないこともある。
お互いが連携することによって
支援が必要な人に届き、
安心して生活してもらえるようにしたい。



トークセッション

対馬ルリ子

高宮城直子

落合香代子

山内優子



おきなわ子ども未来ネットワーク

代表理事 山内優子氏を交えて

若年妊娠の多い沖縄での支援状況、サポート
についてディスカッションしました。

『LINE相談 若年妊娠SOS沖縄』は、
コンビニのトイレにチラシを貼って呼びかけ
相談件数は、当初年間400件から
現在700件ほどに増えている。

会場からの発言と回答

海外や東京での支援活動について勉強になった。

経口中絶薬が認可されたが費用面でアクセスしづらい。

日本女性財団からの支援があるので相談するようにと回答。

性教育が十分に教えられておらず、妊娠や避妊についての知識がもっとあれば、予防できた事例も多いのではないか。

東京では産婦人科医が学校に出向き授業を行っている。
沖縄では助産師が活動していると回答。

当日の様子（一部モザイク加工）



メディア

2023年11月16日（木）
沖縄タイムス に掲載されました

第3種郵便物認可

若年妊産婦支援へ連絡会 22日県博で日本女性財団

若年妊娠や出産で困難に直面する女性への支援を広げようと、日本女性財団（対馬ルリ子代表理事）は22日午前10時～11時半、沖縄プラットフォーム連絡会を那覇市の県立博物館・美術館講堂で開く。入場無料、定員200人。事前申し込みが必要。

同財団は、支援が必要な人々の窓口となる産婦人科医を「フェムシッピングドクター」に認定し、オンライン診療や支援団体との連携に取り組んでいる。若年妊娠・出産を巡る沖縄の現状やフェムシッピングドクターの支援体制について、対馬代表理事やNaoko女性クリニックの高宮城直子院長＝写真前列



中央、おきなわ子ども未来ネットワークの山内優子代表理事、東京で子育て支援に取り組むママリングスの落合香代子代表理事がトークセッションする。高宮城院長は「多様な支援者と連携し、苦しむ女性たちに寄り添っていきたい」と来場を呼びかけた。申し込みはQRコードから。



若年妊婦の支援活動紹介 日本女性財団 那覇で講演会

日本女性財団（対馬ルリ子代表理事）は22日、那覇市の県立博物館・美術館講堂で女性の支援に取り組む人を対象にした講演会を開いた。（12月8日付で特集）



若年妊娠・出産を巡る沖縄の現状について討論する登壇者＝22日、那覇市の県立博物館・美術館講堂（竹尾智勇撮影）

対馬代表は同財団が認定し、若年妊婦など支援が必要な女性の相談に当たる「フェムシッピングドクター」について「医療に携わる人が中心となって地域の女性

たちの現状を知り、支援する活動を広げている」と紹介。「医師だけでなく、カウンセラーと支援団体との連携が進んでいる。若い人が安心して仕事をし、家族をつくって生きてほしい」と語った。

講演の後半では東京都での活動の紹介や県内の支援団体の代表らとのトークセッションも行われ、98人が聞き入った。

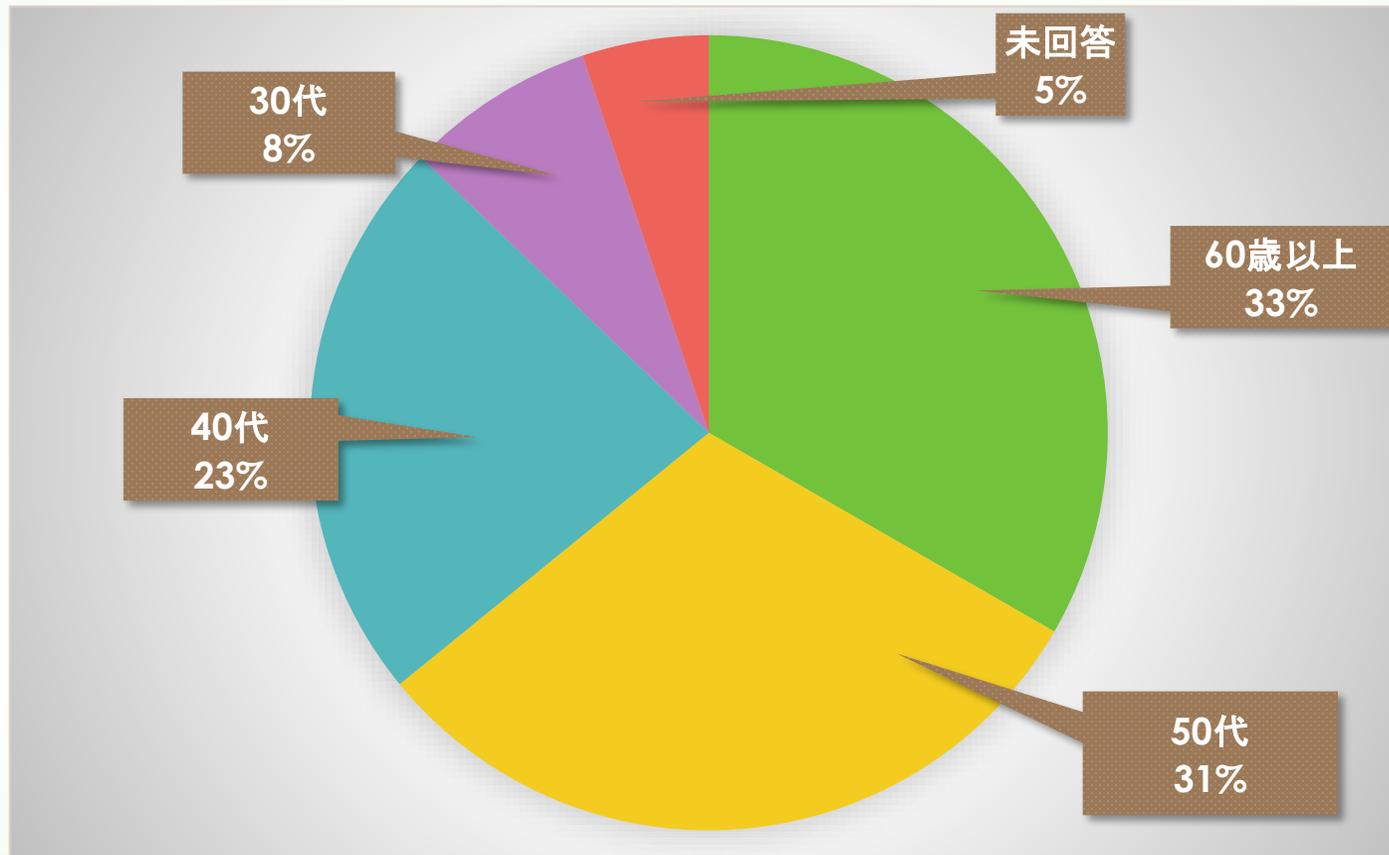
助産師の島袋綾香さん（31）＝浦添市＝は「若年妊婦を支援する活動をしているので、若い人がよく使う交流サイト（SNS）などで情報を発信することが重要だと感じた」と述べた。

生活困窮世帯を支援する「女性を元気にする会」のゴージャス理枝代表は「女性の居場所づくりなど、参

2023年11月23日（木）
沖縄タイムス に掲載されました

来場者アンケート①

100名様にご来場頂き、アンケートを実施



本日は、日本女性財団沖縄プラットフォーム連絡会へご来場頂き誠に有難うございました。

今後は、横のつながりをうまく連携し女性支援活動を円滑に進められるようお願いしております。

本日の感想、ご意見等をお聞かせ頂ければ幸いです。

お帰りの際、下記を記入しスタッフへ提出されるかまたはQRコードを読みとりWEB回答 のいずれかの方法でお願いします。

〇囲みでお答えください。

①年代

20代・ 30代・ 40代・ 50代・ 60歳以上

②本日のシンポジウムはいかがでしたか？

とても良かった・ 良かった・ 普通・ やや不満足・ 不満足

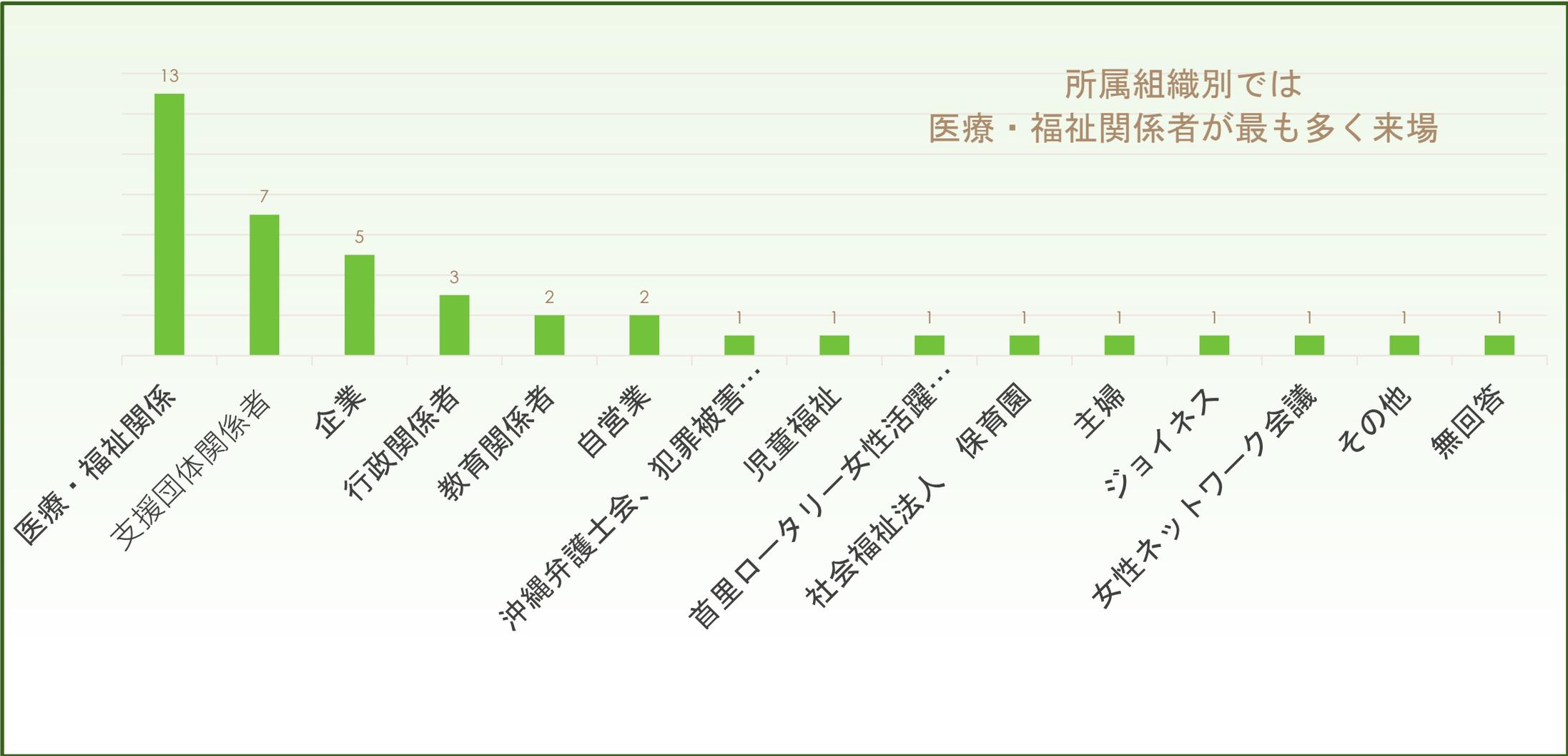
③所属組織

医療福祉・ 支援団体・ 行政・ 教育・ 企業・ 自営業・ メディア
その他()

④ ~自由記入欄~

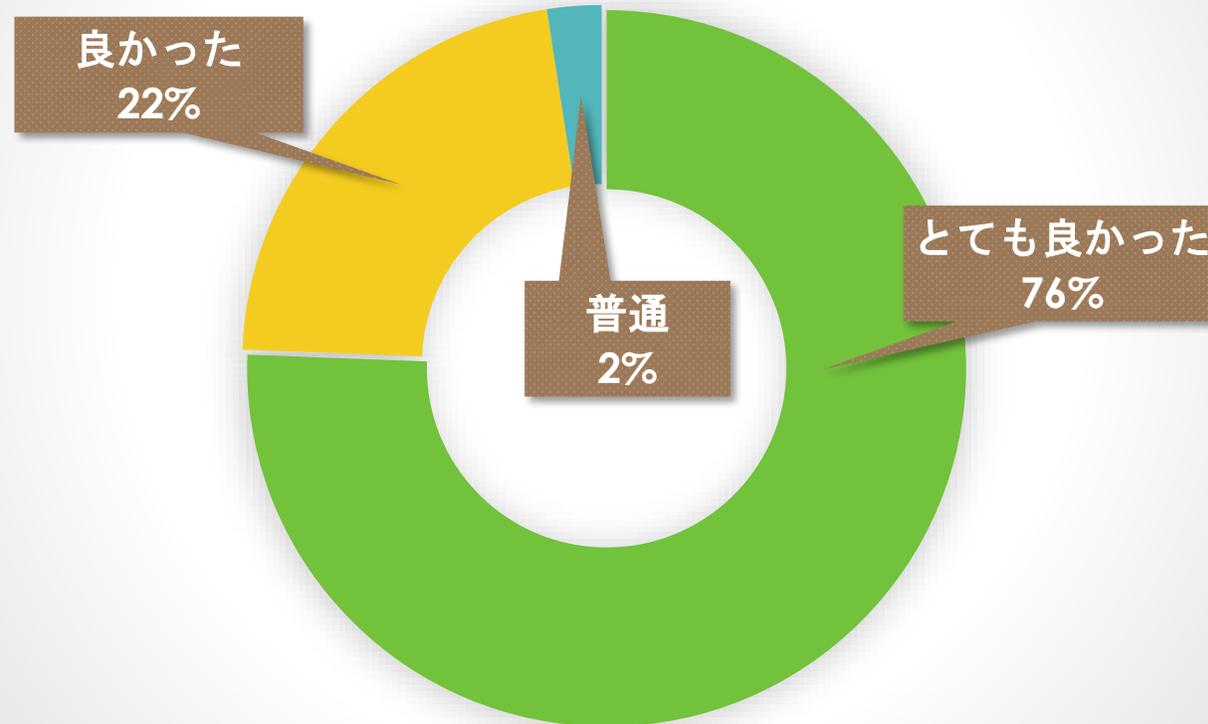


来場者アンケート②



来場者アンケート③

とても良かった
が大部分を占めています。



来場者アンケート④ 自由記入欄に多くのコメントが寄せられました

やはり諸外国に比べて日本の女性問題への取り組みが遅れていると改めて思います。

初めてこのような活動を知りました。お力を借りて一緒に女性をサポートしていきたいと思いました。

最近のホストの常識外の掛け売り(ツケ)を原因とした売春等、女子児童の新生児の遺棄による逮捕等、まだまだ女性にとって厳しい社会だと思います。
企業活動においては様々な不公平を無くす、またはある意味優遇するような支援制度が導入されていますが、地域としてみた時にはまだまだ社会弱者の女性や女子児童が多い状況です。
その中で、医療・福祉等の支援をしている活動は素晴らしいと思いました。応援しています。

たくさんのご意見がお伺いできる機会となったので大変貴重でした。
もう少しお時間があるとより活発な意見交換や顔の見える関係づくりに繋がるのかなあと感じました。

とても素晴らしい活動だと思いました、もっと話が聞きたかったです。又の機会を作って下さい。
身近な問題を見過ごさない事、出来る事から始める方の大切さ、そして繋がる事の必要性を学びました。
講演での資料は頂けないでしょうか。先行している活動のノウハウを共有出来るシステムがあれば良いと思いました。

来場者アンケート⑤ 自由記入欄に多くのコメントが寄せられました

私自身、若い頃にこのような取り組みがあったり、女性の身体がどのように変化していくのかを詳しく知る機会があればよかったと思いました。

また、フランスではNPOの声を行政が真剣に聞き、法制度を作り、資金の心配をせず活動できるようになったという話を知り、日本でもしっかり向き合い進めるべきだと強く思いました。

若年妊娠や貧困の問題は、ボランティアをしていた際に目の当たりにしたことがあります。問題は親の関心が子にないことや、親自身に教養が少ないことにありました。そして根底には貧困がありました。

親の状況は連鎖することが多く、子は知るすべなく同じ道を辿ることになっていました。

幼い頃から、自分のことを大切に愛しむこと、性のことをきちんと学ぶことを、当たり前にしてほしいです。

先生方のこれからのご活躍に期待し賛同します。このような機会をいただき、ありがとうございました。

色々な支援があることを知って大変良かったです。自分にできる支援の協力をしていきたいと思えます

医療が支援団体と連携し、医療につながらなかった女性たちを医療につなげる重要性が大であることを痛感します。特に望まない妊娠へのサポートが急務です。

山内さんのお話し 中3少女を逮捕してしまう社会の方が問題です。働いているクリニックで中絶希望の方が20件断られ妊娠SOSを通じていらした方がいました。

たらい回しにされる中で、中期中絶の週数になっていた事が心身への負担を更に増し、どうにかならなかったのかと思います。0歳0日の遺棄を防ぐためにも

来場者アンケート⑥ 自由記入欄に多くのコメントが寄せられました

落合先生のお話しにありました夜の仕事からお昼の仕事をしたいけど、まわりにロールモデルがないという言葉に考えさせられました

すごく大切な活動だと思います。ありがとうございます。

深刻な現場の諸問題への対応、手当の必要性による少しの改善は、根本的な問題をかくしてしまうリスク。根本課題と現場対応、役割を明確にしてできる事をしていけたらと思います。女性の社会での活躍推進が大きく課題の解決に向かうと思います。

日本女性財団沖縄プラットフォームができた事がすばらしいと思いました。これからも色々な方へ広めたいと思いました。児童福祉に関わっていて障がい児から性教育が必要と感じています。支援者を育成してほしいです。

学校教育への働きかけ推進したいと思いました

来場者アンケート⑦ 自由記入欄に多くのコメントが寄せられました

医療・福祉・政治・経済が連携して、社会に声を届ける このような日本女性財団の組織を初めて知り、今後の活動につなげたい。

女性支援活動について興味・関心はあるのですが、どういう活動が具体的に知らなかったので話が聞けて良かったです。

沖縄の未来・世界の女性がきらきら輝く未来 楽しみです。ありがとうございました。

とても良かったです。対馬さんの発言に勇気をもらいました。

日本の女性は諦めている→諦めないように社会を変えたいと思いました！ありがとうございました。

対馬様:フェムシップの想い、居場所

落合様:支援団体の現状

とても勉強になりました

①フランスの女性(NPO)たちが国を動かしたことがすごい！

②女性の味方、女性産婦人科医に感謝！がんばって下さい

③女性新法施行に向けて日本女性財団の支援はどうなっているのか教えてほしいです。(うるま婦人寮の支援など)

来場者アンケート⑧ 自由記入欄に多くのコメントが寄せられました

すてきな財団がある事を知りました。自分自身の勉強不足を痛感した。
応援しています

様々な支援の必要性を感じる事が日々あります。支援のつながりについては、いつも悩むところです。
本日のお話しで政治への働きかけの重要性を知り確認できました。ありがとうございました。

医療関係の先生方が女性のために行動して頂いてくれることに心強く思っています

子供たちの居場所づくりが急務だと感じたと同時に、弱者に圧力をかけてしまう大人たちの拝啓も
くみ取る事がとても大切なんだと感じた。
私に何ができるのか考えるきっかけになりました。ありがとうございます

フェムシップの活動は始まったばかりのようですが、これからの若い女性のためにも継続されることを希望します

来場者アンケート⑨ 自由記入欄に多くのコメントが寄せられました

多くの方が活動されていることに感謝します。
知らないことも多く、正しく伝えることの大切さを改めて実感しました。
女性が生きやすい社会は、最終的に男性も含めて全ての人が生きやすい社会になることにつながるので、自分にできること小さい事でも少しずつ活動できるようにしたいです。
この財団の方々が政治のトップになってください。

時間が足りなかった。残念 若い方を大切に。

包括的性教育はとても大事だと思います。
ですがその前に家庭・大人の成熟が求められると感じています。

性被害を受けている児童・成人のサポートを専門的に取り扱っております